

事務局の職制及び権限に関する規程の変更について (第4号議案説明資料)

2024年2月5日
電力広域的運営推進機関

- 本機関の業務は、年々拡大、複雑化しており、管理職の業務遂行にあたっては、高い調整能力や業務マネジメント能力が求められる一方で、高度な需給管理やシステム管理運用など、高い専門性が求められるスタッフ的業務も存在する。
- 上記に対応するには、多様な人材の確保および人材育成の強化が必要であり、そのためにも多様なキャリアパスを用意することが必要である。
- キャリアパスの多様化に対応するために、新たな職位の新設等を行うとともに、あわせて、一般職員に主任を新設するなど、一部職位の整理を行う。

<変更内容>

事務局組織に設置する職位に関する事項の整理

✓ 【別表1「事務局に置く職位」】

- ・部室等に共通して必要なとき置く職位として、参事、スペシャリスト及び主任を追加
- ・スペシャリストの新設に伴い、専門スタッフを廃止

✓ 【別表2「各職位の基本的な職務」】

- ・参事、スペシャリスト及び主任の職務を規定

1. 事務局に置く職位

設置対象		置く職位*	必要なとき置く職位**
部		部長	担当部長、副部長、マネージャー、副マネージャー
室		室長	マネージャー、副室長
	室	室長	マネージャー、副室長
	容量市場センター	所長	副所長、マネージャー、副マネージャー
	広域運用センター	所長	副所長、当直長、副当直長
共通		—	参与、 <u>参事（新設）</u> 、シニアスタッフ、 <u>スペシャリスト（新設）</u> 、 <u>主任（新設）</u> 、 <u>専門スタッフ（廃止）</u>

2. 新設する各職位の基本的な職務

参事

- ・役員、部長等の命を受け、特別の業務に係る企画、立案、業務遂行等に参画する。
- ・職員に対し、自らの知見に基づいて、業務遂行の具体的な方法、手順等に関する助言及び指導を行う。

スペシャリスト

- ・直属の上司である職位の命を受け、自己の持つ特定分野の高い専門知識を最大限活用し、担当業務を計画的かつ的確に遂行するとともに、所属する部等の職員に対する指導を行う。

主任

- ・直属の上司である職位を補佐するとともに、専門的見地から適時適切に意見具申又は提案を行う。
- ・予め直属の上司である職位の命を受け、所属する部等の職務の一部を管理するとともに、配下の職員に対する指導を行う。

2. 人材確保・人材育成の強化

(4) 研修やスキルアップ支援、キャリアパスの多様化等について

18

● 研修の充実

従来の研修に加え、公正取引委員会の講師を招いた情報管理や調達に関する研修や、本機関及び資源エネルギー庁、電力・ガス取引監視等委員会の新規着任者向け合同研修、本機関の新規着任者向け現場視察研修などの、電力業界での勤務経験がない新規着任者の業務遂行能力の向上に向けた研修等を新たに実施した。また、来年度より、役職階層別の外部研修も導入する予定。
また、全職員が参加可能な自主的勉強会（朝練）も月に2回程度引き続き開催している。

● スキルアップ支援制度の新設

職員の能力向上のため、電気主任技術者、統計検定、情報処理技術者、ビジネス実務法務検定等幅広い分野を対象とした、資格等取得者の支援（表彰金あり）を新設するための規程を本年度制定する。

● 360度評価の導入

役員及び部長級職員等を対象に、マネジメント等についての気づきを得ることや、人事評価の補完的な参考資料とするため、今年度から360度評価を実施する。

● 契約社員のモチベーション向上策の導入

契約職員に業績評価を導入し、特に優秀な場合は昇給等のモチベーション向上策を実施する。

● キャリアパスの多様化

一般的に本機関のプロパー職員には、実務に精通しつつ、会員企業や学識経験者、国等との高い調整能力や業務マネジメント能力が求められる。一方で、一部には高度な需給管理やシステム管理運用など、高い専門性が求められるスタッフ的業務も存在する。これらジョブ型のキャリアパスに対応するために、新たな役職として「スペシャリスト（管理職相当）」等を新設する。
また、併せて一般職員にも「主任」を新設するなど、各級毎の役職についても整理を行う。